

記入例 (表)

1

令和3年 4月 1日

収支の明細書

1 住所・氏名等

住所 所在地	高槻市桃園町2番1号	氏名 名称	高槻 太郎
-----------	------------	----------	-------

2 直前1年間における各月の収入及び支出の状況

年月	① 総収入金額	② 総支出金額	③ 差額(①-②)	備考
R2年 4月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R2年 5月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R2年 6月	850,000 円	460,000 円	390,000 円	賞与として40万円が支払われたため
R2年 7月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R2年 8月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R2年 9月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R2年 10月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R2年 11月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R2年 12月	950,000 円	550,000 円	400,000 円	賞与として50万円の収入があったため
R3年 1月	450,000 円	400,000 円	50,000 円	
R3年 2月	450,000 円	360,000 円	90,000 円	
R3年 3月	450,000 円	420,000 円	30,000 円	長男の高校入学による臨時支出

3

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

区分		見込金額	区分		見込金額
収 入	給与(本人)	400,000 円	支 出	住宅ローン	75,000 円
	パート給与(妻)	50,000 円		医療費	20,000 円
		円		学費(高校、学習塾)	27,000 円
		円			円
		円			円
		円			円
		円			円
		円			円
		円			円
		円			円
① 収入合計		450,000 円	② 支出合計		360,000 円
納付可能基準額(①-②)(A)		90,000 円			

4

4 今後1年以内における賞与等の臨時的な収入及び支出の見込金額

	内 容	年 月	金 額
臨 時 収 入	賞与	令和3年 6月	400,000 円
	賞与	令和3年 12月	500,000 円
		年 月	円
		年 月	円
臨 時 支 出	住宅ローン(賞与時加算)	令和3年 6月	100,000 円
	住宅ローン(賞与時加算)	令和3年 12月	100,000 円
		年 月	円
		年 月	円

記入例（裏）

5

今後1年以内に納付すべきことが見込まれる国税及び地方税等（B）

年	月	税目	金額	年	月	税目	金額
令和3年	5月	自動車税	45,000円	令和3年	9月	固定資産税	70,000円
令和3年	5月	固定資産税	70,000円	令和3年	10月	市府民税	50,000円
令和3年	6月	市府民税	50,000円	令和3年	12月	固定資産税	70,000円
令和3年	7月	固定資産税	70,000円	令和4年	1月	市府民税	50,000円
令和3年	8月	市府民税	50,000円	年	月		円

6

6 家族(役員)の状況

続柄(役職)	氏名	生年月日	収入・報酬(月額) (専従者給与を含む)	職業・所有財産等
本人	高槻 太郎	昭和45年 4月 1日	400,000円	会社員
妻	高槻 花子	昭和50年 10月 10日	50,000円	パート
子	高槻 一郎	平成17年 6月 5日	円	高校生
子	高槻 二郎	平成20年 9月 20日	円	中学生

7

7 分割納付年月日及び分割納付金額

納付年月日(C)	①納付可能基準額	②季節変動等に伴う増減額	③臨時の入出金額	④国税等納付額	⑤分割納付金額(D) (①+②+③-④)
令和3・4・30	90,000円	円	円	円	90,000円
令和3・5・31	90,000円	円	円	115,000円	0円
令和3・6・30	90,000円	円	300,000円	50,000円	340,000円
令和3・7・31	90,000円	円	円	70,000円	20,000円
令和3・8・31	90,000円	円	円	50,000円	40,000円
令和3・9・30	90,000円	円	円	70,000円	20,000円
令和3・10・31	90,000円	円	円	50,000円	40,000円
令和3・11・30	90,000円	円	円	円	90,000円
令和3・12・31	90,000円	円	400,000円	70,000円	360,000円 +延滞金
・	円	円	円	円	円
・	円	円	円	円	円
・	円	円	円	円	円

【備考】

収支の明細書の記入方法

「収支の明細書」は、猶予を受けようとする金額が100万円を超える場合に、「徴収猶予申請書」または「換価猶予申請書」に「財産目録」とあわせて添付して提出する必要があります。

1 申請年月日
申請書を提出する日を記入してください。郵送で提出する場合は、郵便を投函する日を記入してください。

2 「2 直近1年間における各月の収入及び支出の状況」欄
申請書を提出する日の直前1年間における各月ごとの
「①総収入金額」、「②総支出金額」及び「③差額(①-②)」を記入します。
また、「③差額(①-②)」欄の金額がマイナスのときは、金額の前に「▲」をつけます。
なお、臨時的な収入や支出があった月については、「備考」欄にその理由を記入します。

3 「3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)」欄
猶予期間中における月単位の平均的な収入及び支出の見込金額を税込み金額で記入します。
この欄で計算した「納付可能基準額(①-②)(A)」を元に「7 分割納付年月日及び分割納付金額」欄を記入します。

(ア)「収入」欄

売上収入や、その他経常的な収入をすべて税込み金額で記入します。また、納税者が個人の場合には、給与収入や報酬も含めて記入します。

(イ)「支出」欄

・事業に係る支出

仕入れ、給与、役員給与(人件費)、家賃等、諸経費、借入返済、その他の支出(※)を記入します。
なお、これらの支出は、事業の継続のために真に必要と認められるものに限られるため、例えば、次に掲げるようなものは認められないことに留意してください。

- ・不要不急の財産の取得のための支出
- ・期限の定めのない債務の弁済のための支出 など

※ 減価償却など、実際に支払を伴わない費用などは「支出」に該当しません。

また、納税者が特別徴収義務者の場合、給与の見込金額は個人市民税の特別徴収分を差し引いた金額を記入してください。

・生活費(納税者が個人の場合のみ)

「財産目録の記入方法」の「3 当面の必要資金額」欄の(イ)「生活費」欄と同様です。

4 「4 今後1年以内における臨時的な収入及び支出の見込金額」欄
今後1年以内における臨時的な収入及び支出の見込金額について税込み金額で記入します。

5 「5 今後1年以内に納付すべきことが見込まれる国税及び地方税等(B)」欄
今後1年以内に納付すべきことが見込まれる国税、地方税、社会保険料等について、その納付すべきことになる年月、税目及び金額をそれぞれの欄に記入します。

6 「6 家族(役員)の状況」欄

- ・納税者が法人の場合
すべての役員について、その役職、氏名、生年月日、月の報酬額(※)及び所有財産等を記入します。
※報酬額は源泉所得税を控除する前の額を記入してください。
- ・納税者が個人の場合
生計を一にする親族について、続柄、生年月日、収入金額(専従者給与を受けている場合は、その金額)、職業及び所有財産等を記入します。

7 「7 分割納付年月日及び分割納付金額」欄
(ア)「納付年月日(C)」欄
猶予期間中の各月の納付年月日を記入します。

(イ) 「①納付可能基準額」欄

「3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額（月額）」欄の「納付可能基準額（①－②）（A）」欄に記入した金額を転記します。

(ウ) 「②季節変動等に伴う増減額」欄

「2 直前1年間における各月の収入及び支出の状況」欄のほか、例年の収支状況をもとに、
「3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額（月額）」欄で算出した「納付可能基準額（①－②）（A）」欄と比較し、季節変動等に伴う増減額を記入します。
なお減額する場合には、金額の前に「▲」を記入します。

(エ) 「③臨時的入出金額」欄

「4 今後1年以内における臨時的な収入及び支出の見込金額」欄をもとに、納付年月における臨時的入出金額の合計を記入します。
なお減額する場合には、金額の前に「▲」を記入します。

(オ) 「④国税等納付額」欄

「5 今後1年以内に納付すべきことが見込まれる国税及び地方税等」欄に記入した、納付年月における国税等の見込金額を転記します。

(カ) 「⑤分割納付金額(D) (①+②+③-④)」欄

各月ごとに、「①納付可能基準額」欄の金額から、「②季節変動等に伴う増減額」欄の金額及び「③臨時的入出金額」欄の金額を加算し、「④国税等納付額」欄の金額を減算した金額を記入します。

なお、最終の納付年月日の「⑤分割納付金額(D) (①+②+③-④)」欄には、「〇〇〇円（本税の残額 + 延滞金）」と記入します。